

妻の本心と 僕の誓い。

ハーベルハウス
2.5世帯ものがたり
～第5話～

妻は同居に前向きだろうか？

八月十七日。僕ら四大家族は実家のそばの公園にいた。砂場で遊ぶ子どもたち。ベンチで見守る妻と僕。妻との出会いは友達を紹介、といえは聞こえはいいが要は合コン。僕がうけた妻の第一印象は「楽しそうに飲む可愛い女性」。妻の僕への第一印象は「つまようじ」。子どもが生まれてからは、好きなお酒も程々に、共働きで本当によくやってくれている。夫側の両親との同居に抵抗のある女性が多いと聞く。うちの場合はそこに姉も加わった「2.5世帯」。「ブランドバック（限定品）で手を打ってあげる笑」そんな彼女ならではの冗談が、その優しさが、僕の背中を押してくれた。だけど本心では前向きなんだろうか？「あのだ」「いい街よね。都心に近いのに緑も多くて」「ああ」「基本は生活空間がきっぱり独立してること。それが前提条件だからね、2.5世帯」と、当然！玄関を二つにしたり、キッチンやお風呂も別々にしたり、僕らの細かい要望に合わせて建てられるのが『ハーベルハウスの2.5世帯住宅』「お義父さん、お義母さんもまだまだ元気だけど、私たちが支えていかなきゃね」将来的な親のサポートにまで思いを巡らせてくれている妻。「祖父や祖母と暮らす子どもは優しく育つんだって」子どもたちのメリットも考えぬいて。「お義姉さんに流行の海外ドラマDVD借りまくろーっと」自分のメリットもちゃっかり計算済み。「プシュッ！」「え!?」「お盆だもん。お昼からたしなんじゃってもイイんじゃない？」いつの間にか買った!?というか僕の分は!?「わたし同居しても、おりこうな妻になんかならないもん」結婚して八年。何事もポジティブにとらえる妻の生き方に、僕は何度救われたことだろう。よし。同居が決まったらトイレ掃除も僕が担当する。ええい、フロ掃除もだ！三十五歳の夏、僕は誓った。

（明日予定の広告紙面に）つづく

2.5世帯住宅で、暮らしませんか？

考えよう。答はある。

ハーベルハウス



0120-917-555

電話受付時間／10:00～17:00（火曜・水曜定休日）
※地域により留守番電話になっている場合がございます。

<http://www.asahi-kasei.co.jp/hebel/>

【個人情報の利用目的について】お問合わせ・資料請求でいただいた個人情報は ●カタログ・資料の送付、見学会・セミナー等の各種イベント等のご案内 ●建築計画の提案、図面・書類等の作成のための各種調査・サービスのご提供 ●商品やサービス等の開発・改善のためのアンケート調査の実施等に利用させていただきます場合があります。詳しくは「プライバシーポリシー」として弊社ホームページにて公表しています。